

第 9 期

昭和30年5月2日～昭和34年5月1日 [昭30.4.30選挙執行] 定数48名

この期の 主な出来事

- * 国際連合に加盟 (昭31.12)、今上天皇御成婚 (昭34.4)、安保闘争 (昭34.4)
- * NHK札幌放送局がテレビ放送開始 (昭31.12)

議席の決定は抽選で

現在の議席は各党派で決められていますが、昭和38年までは抽選で決めていました。新議員が決定した初議会になると選挙管理委員会から抽選用の器械を借用。50音順に各議員が福引しながら、がらりと回しました。各議席にはそれぞれ番号がついており、器械を回すと番号のついた玉が出てきました。



第9期市議会議員



藻岩山観光自動車道路開設 (昭33.7)

北海道大博覧会に合わせて、初めから観光施設として造成されました。陸上自衛隊が施工に当たり、全長3,990m、有効幅員6.5m、昭和42年になって舗装されました。

札幌テレビ塔完成 (昭32.8)

昭和31年、NHK札幌テレビジョンが開局、完成したテレビ塔のアンテナから電波発信し、北海道のテレビ時代の幕開けとなりました。高さは147.2mです。



市民会館落成 (昭33.6)

旧豊平館跡に建設されました。大ホールは音楽効果が優れており、現在も内外の高い評価を得ています。

北海道大博覧会 (昭33.7～8)

札幌と小樽で開催されました。桑園会場の施設は後に中央卸売市場となりました。



第 10 期

昭和34年5月2日～昭和38年5月1日 [昭34.4.30選挙執行] 定数52名

この期の 主な出来事

- * 日米新安条約調印 (昭35.5)、池田内閣が所得倍増・高度経済成長政策発表 (昭35.9)
- * ポートランド市と姉妹都市提携調印 (昭34.11)、市民の投票により札幌の花 (スズラン)、木 (ライラック)、鳥 (カッコウ) を決定 (昭35.11)

市議会テレビに写る

一般家庭にボツボツではありますがテレビのアンテナが立ち始めたころ、NHKが市議会を実況中継しました。第10期始まってすぐの臨時会、突如議場にライトが輝き、新議会を構成する議員も面映ゆそうな議場風景でした。

深夜の炊き出し

昭和38年第1回定例会でのことです。会議が長引き、夜の12時になってはまだ終わりません。商店・食堂はすでに閉店していました。職員が行きつけの食堂に頼みこみご飯を炊いてもらいました。ご飯は計4回炊き、作ったにぎり飯は160個、およそ3時間半かかって議員に配りました。



第10期市議会議員

消防局庁舎竣工 (南3西11) (昭36.8)

消防本部と消防署を併置した消防庁舎が新築されました。昭和62年2月に現在の消防局庁舎ができるまで使用していました。



豊平町が札幌市に合併 (昭36.5)

昭和10年頃から合併の機運がありました。その後、長い年月幾多の紆余曲折を経て、ようやく合併が実現しました。



石狩街道陸橋完成 (昭36.9)

札幌と石狩を結ぶ石狩街道陸橋(延長740m、幅18m)が、昭和31年の着工から5年の歳月をかけて完成しました。

中央卸売市場開場 (昭34.12)

当初、昭和33年10月の開場予定でしたが、市議会及び中央卸売市場開設審議会の努力にもかかわらず、卸売人の統合問題で難航し、青果部が昭和34年12月、水産部は昭和35年4月に業務を開始しました。

